



WEB DESIGN #12

Step 1





Goal

CSSでダイナミックな

スライドショーを作る



準備するもの

ブラウザには「Safari」
「Firefox」「Google Chrome」
など色々あるけど、スクールで
は「Google Chrome」を使う
よ！



1. Sublime Text 2

テキストエディター。HTML/CSSファイルを作る時に使います。[⌘+s]で「保存」、[⌘+q]で「終了」。「index.html」ファイル等をウィンドウにドラッグ&ドロップでひらくことも出来るよ！

2. Google Chrome

ブラウザー。#2のテキストでやった「開発者ツール」は、1) 右クリックで「要素の検証」か、2) [⌘+option+i]で開く事が出来るよ！また、右クリック→「ページのソースを表示」で、そのWEBサイトのhtmlファイルを見る事が出来るよ！

今日のサイトのデモページ

<http://lit-web.jp/webSchool12>

作者が参考にしたツール

<http://prezi.com/>

impress.jsとは？

Java Scriptsのコードのひとつ。

今回使う「impress.js」の作者が、
「prezi.com」という、オンラインプレゼンテーション作成ツールにインスピレーションを受けて作ったもの。

大好評連載中

今日のShortcut Key Recipe!

プライベートモードとは、履歴や打ち込んだパスワードが保存されない閲覧方式だよ！

他人のPCや貸し出しPCでログインするときはこれを使うと安心！

Google Chrome 編

- 1) ⌘+shift + Tab = 直前に閉じたタブを再度開く
- 2) ⌘+shift + N = プレイベートモードで
- 3) ⌘+ D = 「お気に入り」に保存

今日のファイル

 web_school_#10

↳  index.html

をエディタで開こう！

 web_school_#10

↳  images

↳ background.jpg

を変更すると、スライドの背景を変更できるよ！

1. 最初のスライド

index.html

*index.html*の中で下の行を見つけよう！

`<div id="bored" ... > ... </div>`で囲まれているところが一枚のスライドだよ！

`<!-- ここから下を変更していこう！！！ -->`

`<div id="impress">`

`<div id="bored" class="step slide" data-x="-1000" data-y="-1500">`

`<q>今日は「Impress.js」という...</q>`

`</div>`

1. 最初のスライド

index.html

【ルール】

impress.js では、以下のようにクラス属性「*step*」をつけた `<div>` タグで囲ったところが一つのスライドだよ！試しに一つスライドを付け加えてみよう！

```
<div class="step">  
  (スライドの中身)
```

```
</div>
```

2. 基本的なカスタマイズ

index.html

【ルール】

クラス属性「*step*」をつけた<div>タグの中身には、今まで書いてきたように<h1>~<h6>タグでタイトル、<p>タグで文章、<a>タグでリンク、タグで画像、<iframe>でYoutubeの埋め込み。。。などが書けるよ！

```
<div class="step" >  
  <h1>タイトル</h1>  
  <p>文章</p>  
</div>
```

2. 基本的なカスタマイズ

【ルール】

index.html

クラス属性「step」をつけた<div>タグの属性に「**data-x="100" data-y="100"**」のように書いてあげることで、スライドの位置を変えることができるよ！

```
<div class="step" data-x="100" data-y="100">  
  <h1>タイトル</h1>  
  <p>文章</p>  
</div>
```

イメージは数学で学ぶ「x軸」と「y軸」

data-x="100"なら、一番左上から100px右のところ、

data-y="100"なら、一番左上から100px下のところ、

という意味だよ！

2. 基本的なカスタマイズ

最初の三枚はこのように、*data-x*(横)がそれぞれ1000pxずつ左から右に動いていて、*data-y*(縦)が同じ-1500pxだから、横にスライドするように動くんだね！

```
<div id="bored" class="step slide" data-x="-1000" data-y="-1500">  
  <q>...</q>  
</div>
```

```
<div class="step slide" data-x="0" data-y="-1500">  
  <q>...</q>  
</div>
```

```
<div class="step slide" data-x="1000" data-y="-1500">  
  <q>...</q>  
</div>
```

3. 応用カスタマイズ<中級>

「*data-scale="4"*」のように、`<div>`タグに「*data-scale*」オプションを付け加えてあげることで、スライドの大きさを自由自在に変更することができるよ！

```
<div id="title" class="step" data-x="0" data-y="0" data-scale="4">  
  <span class="try">今日はこれを覚えて帰る！ </span>  
  <h1>impress.js<sup>*</sup></h1>  
</div>
```

4. 応用カスタマイズ<上級>

「`data-z="-5000" data-rotate-x="-50" data-rotate-y="180"`」のように、
<div>タグに「`data-z`」オプションで、高さ(三次元、3dのイメージ)を、
「`data-rotate-x(y)`」オプションで、回転具合(`*rotate = 「回転」`)を変更できるよ！

```
<div class="step" data-x="100" data-y="1500" data-z="-5000" data-rotate-x="-50" data-rotate-y="180" data-scale="3">
```

```
  <p>...</p>  
</div>
```


4. 応用カスタマイズ<上級>

data-z で高さ、
data-rotate-x(y) で回転具合を
変化させれば、

このように
三次元空間に
スライドを配置している
ようなこともできるよ！



"data-rotate-x"と"data-rotate-y"を利用すれば、スライドを回転させることができるよ！'rotate'は「回転」って意味だよ！

最後に

オリジナルのスライドを自分で作ってみよう！！！！

WEB DESIGN Course ルール

1. ショートカット: [⌘+s(保存)]、ファイル名: 「xxx.html」
2. 分からない友だちに教えてあげよう!(教えることが一番の上達の道!)
3. 分からない時はまずググってみよう! 自己解決能力もスキルの一つ!
4. おすすめのサイトや記事を見つけたらみんなに教えよう!
5. 次回の最初に「難」「鬼難」の答え合わせをするよ!
6. 楽しく開発するのが一番! Happy Hacking!